

人間社会学部／地域社会コース	職名	講師	氏名	福本 純子
----------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

早稲田大学人間科学部卒業、早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了、熊本大学大学院社会文化科学教育部博士後期課程を単位取得退学。下関市立大学経済学部特任教員（地域貢献担当）等を経て、2021年に本学着任。

主な研究分野は、地域社会学、環境社会学、農村社会学。農山村、とくに中山間地域へのフィールドワークを中心に、地域住民の方々にお話を聴きながら研究を進めています。主な研究テーマは（1）再生可能エネルギーと（2）農山村の地域課題です。（1）再生可能エネルギーの中でも特に小規模な水力発電に注目し、地域社会との関係について研究しています。たとえば、農山村に現存する小規模水力発電の、地域での運営方法や役割を分析することを通じて、持続可能な地域づくりについて探求しています。（2）農山村の地域課題については、特に農業に関する課題（耕作放棄地、獣害、担い手問題など）に焦点をあて、日本の農村のあり方について考えています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

- ・福本純子，2018，「コミュニティが担う再生可能エネルギー——東広島市の農村小水力発電の事例から」鳥越皓之・足立重和・金菱清編『生活環境主義のコミュニティ分析——環境社会学のアプローチ』ミネルヴァ書房，483-502.

<論文>

- ・福本純子，2019，「生産基盤縮小にみる集落の自律的再編——広島県庄原市の中山間地域における稲作の縮小を事例として」『熊本大学社会文化研究』17：291-308.
- ・松岡崇暢・本田恭子・福本純子，2021，「獣害対策に向けた小水力発電の導入が山口県下の農山村に与えた影響——農山村の持続と再生に寄与する地域づくりの発展」『宮崎大学地域資源創成学部紀要』4：59-69.

<報告書>

- ・山本努・福本純子編，2019，『地方地域社会に暮らす若者の社会意識——九州・山口在住の若者に関する社会調査から』熊本大学大学院人文社会科学部（地域社会学研究室）.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・福本純子，「農村の人々から見た再生可能エネルギー普及の論理」環境社会学会第58回大会，大阪産業大学，2018年12月.
- ・山本努・福本純子，「若者（大学生）の原子力発電についての意識：研究ノート」西日本社会学会第78回大会，2020年5月.
- ・福本純子，「過疎農山村における社会的排除とムラの自律的対応——広島県庄原市 X 集落における稲作縮小の事例から」日本社会病理学会第36回大会，テーマセッション「若手・中堅にとっての社会病理学の可能性——現代の社会的排除を捉える方途」，神戸学院大学（オンライン），2021年3月，（招待講演・テーマセッション）.

<書評>

- ・福本純子，2020，「宮本結佳著『アートと地域づくりの社会学——直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造——』」『西日本社会学会年報』18：123-124.

③過去の主要業績

<報告書>

- ・福本純子, 2015, 「社会組織——ムラの組織と家のつながり」金子祥之編『地域社会と寺院が織りなす生活文化——市川市上妙典の生活変遷』青山学院大学総合文化政策学部, 79-89.

<学会発表>

- ・福本純子, 「農村の水利用における小水力発電の位置——中国地方の農村小水力発電を事例として」日本社会学会第88回大会, 早稲田大学, 2015年9月.
- ・Fukumoto, Junko, “Community-based Renewable Energy Structures in Industrialized Societies : A Case of Small Hydropower in Rural Community” The 14th World Congress of the International Rural Sociology Association (IRSA) , Ryerson University, Toronto, Canada, August 2016.

3. 外部研究資金

- ・文部科学省, 科学研究費補助金 (基盤研究 B) 「ポスト農業社会の食・農・自然に視点をおいた農業社会学の構築」2020~2023 年度, 研究分担者 (研究代表者: 牧野厚史・熊本大学).

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、西日本社会学会、日本社会分析学会、山口地域社会学会、日本社会病理学会

6. 担当授業科目

地域社会学 A ・ 2 単位 ・ 1 年 ・ 後期	社会調査の設計 ・ 2 単位 ・ 2 年 ・ 前期
社会福祉調査法 ・ 2 単位 ・ 2 年 ・ 後期	地域社会学 B ・ 2 単位 ・ 3 年 ・ 前期
福祉社会学 ・ 2 単位 ・ 3 年 ・ 前期	卒業論文 ・ 6 単位 ・ 4 年 ・ 通年

7. 社会貢献活動

- ・下関市「創業支援型地域活性化事業」KARASTA.協議会・出席者

8. 学外講義・講演

- ・福本純子, 「人と野生動物の社会学——現代農山村の鳥獣被害を事例に」市民大学公開講座, 下関市立大学 (オンライン), 2020 年 11 月 18 日.
- ・福本純子, 「地域における小規模水力発電の持続可能性」地域の元気応援プロジェクト「中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう」(広島大学) でのオンライン勉強会「中山間地域で SD を考える」, 2021 年 2 月 27 日.

9. 附属研究所の活動等

なし